

管理職に女性を登用して企業を活性化!

特集見聞

聞く、語る

新光産業株式会社が「均等推進企業表彰 山口労働局長奨励賞」を受賞!



宇部市にある「新光産業株式会社」が「平成16年度均等推進企業表彰山口労働局長奨励賞」を受賞しました。

これは、女性労働者の能力発揮を促進するための積極的取組(ポジティブ・アクション)を推進している企業を厚生労働省が表彰しているもので、建設会社がこうした表彰を受けるのは全国的にまだそれほど多くありません。

どんな取り組みが進められているのか、同社取締役総務本部総務部長の西野英夫さんに話を伺いました。

この度は、表彰、おめでとうございます。まず会社の概要について教えてくださいませんか。

当 社の創業は昭和10年。山口県や北九州で約20の炭鉱を経営していましたが、その後、機械・鉄鋼部門、建築・土木部門、セラミックス製品の研磨等の分野などに進出しています。

現在は、建設・機械・AMTの3事業部からなる総合建設業として幅広く事業を展開しています。宇部本社のほか、全国5カ所に営業所があり、社員は現在349人(男性303人・女性46人)。管理職は95人で、そのうち女性は6人。2人が営業、4人が設計や現場を担当しています。

西野 英夫
Hideo Nishino
新光産業取締役総務部長

以 前の女性採用は高卒・短大卒の事務職がほとんどですが、大卒の女性を総合職として採用するようになったのを機に、女性は男性の補助業務という考え方を改め、初任給なども同じにしました。そうしたことから、結婚して退職する女性が以前は8割だったのが、今では半分くらいになるなど、勤続年数が伸び、結婚後も仕事を続ける女性が増えてきたんです。

ポジティブ・アクションに取り組むようになった経緯は?

そういう場は好きなのですが、その場には必ず男性も付いて複数で接客させるようにし、お客様には予め「九時までで失礼します」と時間を決めて、伝えるようにしています。

当社には、設計や現場を担当している女性もおり、女性だから男性だからということなしに、仕事の実績で評価しています。

目 標は、女性が働き続けられる環境づくりを図ること。

今年も女性の管理職登用を進めて、主任からさらに課長職へ引き上げていきたいと思っています。また、これまで「ポジティブ・アクション」は総務がやっていること、といった感じてしたが、今回の表彰がマスコミに取り上げられたことで、社員一人ひとりが名実共にその環境づくりに参加しなければ、と感じているようです。

来年度から発行する全社的な社内報でもこうした取り組みを掲載して、社員全体に周知させたいと思っています。

来年度から発行する全社的な社内報でもこうした取り組みを掲載して、社員全体に周知させたいと思っています。

特集見聞

聞く、語る



出 産・育児による退職をどうやって防ぐかというところで、今、当社には育児休業中の女性管理職がいるほか、結婚してまだ数年の女性管理職もいます。子どもが生まれてもぜひ働き続けてほしいと思っており、そのためには会社の雰囲気づくりが大切です。育児休業を取ることの後ろめたい雰囲気があると取りにくいですし、また復職したときに働きづらい雰囲気だと仕事を続けることが難しくなります。

にあつて少数精鋭の体制で仕事をしている中、育児休業で1年間プランクが生じてしまうのは、経営面から見ると非常に厳しいものがあります。けれども、そうした懸念の生じない、育児休業を取得しやすい、社内風土や環境づくりを進めて、出産・育児による退職者を防いでいかなければなりません。

復職後に仕事が変わっているとそこで新しいやりがいを見いだすかもしれないが、それまでの仕事は何だったんだろうと疑問を感じて働きづらくなるかもしれないからです。そこで、できるだけ元の職場に復職できるようにしようと考えています。

女性の営業職の方もおられるそうですね。

は い。女性管理職のうちの1人は、総務や設計の仕事に従事した後、対人関係が非常にソフトでお客様からの評判がよいことから、営業職に配置転換した女性です。以前、設計を担当していたことから、仕組みが分かった上で営業できることあって、とても信頼されています。ただ、営業職には飲食を伴う夜間の接待もあり、本人も

女性の管理職の積極的な登用で、何か波及効果がありましたか?

そ れまで以上に前向きな意欲で仕事に取り組み女性が増え、管理職になった女性も、責任をもたされることで仕事への張り合いが生まれているように感じま

な活用を図ろうと、平成12年4月の昇格人事から、昇格者を推薦する際は各部署から必ず女性を1人以上推薦するように定めました。その結果、女性の管理職が平成12年4月に新たに1人、平成13年に3人、平成15年に1人誕生し、それ以前からの1人を加えて、現在6人となっています。

確かな技術を
人へ未来へ

長谷川 亮範
Hideo Hasegawa
新光産業株式会社取締役社長

新光産業株式会社
会社概要

創業 昭和2年5月
設立 昭和2年10月
資本金 30,000万円
代表者 代表取締役社長 長谷川亮範
従業員 330名
営業内容 建設業、旅館業、
本社 〒759-0297
宇部市大字際波1440番地
TEL 0836-45-1120 (代)